

令和元年 9 月期

横浜市感染症発生動向調査委員会報告

令和元年 9 月 26 日
横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課
TEL045(370)9237
横浜市健康福祉局健康安全課
TEL045(671)2463

《今月のピックアップ》

- 麻しんの報告が 2 件ありました。
- 腸管出血性大腸菌感染症が多く報告されています。
- RS ウイルス感染症の報告数が多い状態が続いています。
- 風しんの報告数が多い状態が続いています。
- 手足口病の流行警報が発令されています。

全数把握の対象

【9 月期に報告された全数把握疾患】

コレラ	1 件	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 件
細菌性赤痢	1 件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 件
腸管出血性大腸菌感染症	16 件	侵襲性肺炎球菌感染症	2 件
A 型肝炎	3 件	水痘(入院例に限る)	1 件
デング熱	4 件	梅毒	13 件
レジオネラ症	4 件	百日咳	24 件
アメーバ赤痢	7 件	風しん	17 件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	5 件	麻しん	2 件
急性脳炎	1 件		

- 1 コレラ:インドでの経口感染と推定される報告が 1 件ありました。
- 2 細菌性赤痢:ミャンマーでの経口感染と推定される報告が 1 件ありました。
- 3 腸管出血性大腸菌感染症:O157 が 12 件(うち無症状病原体保有者が 4 件)、O26 が 1 件(無症状病原体保有者)、O121 が 1 件、O 不明が 2 件ありました。
- 4 A 型肝炎:同性間性的接触と推定される報告が 1 件、異性間性的接触と推定される報告が 1 件、感染経路不明の報告が 1 件ありました。
- 5 デング熱:蚊からの感染と推定される報告が 4 件(タイ 2 件、フィリピン 1 件、ミャンマー 1 件)ありました。
- 6 レジオネラ症:肺炎型の報告が 4 件ありました。
- 7 アメーバ赤痢:腸管アメーバ症の報告が 7 件ありました。感染経路は国内での異性間性的接触が 1 件、海外での経口感染が 3 件(タイ 2 件、ベトナム 1 件)、不明が 3 件でした。
- 8 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症:5 件の報告がありました。
- 9 急性脳炎:10 歳未満の病原体不明の報告が 1 件ありました。
- 10 クロイツフェルト・ヤコブ病:古典型 CJD の報告が 1 件ありました。
- 11 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: B 群が 2 件ありました。
- 12 侵襲性肺炎球菌感染症:10 歳未満の報告が 1 件(ワクチン接種歴あり)、70 歳以上の報告が 1 件(ワクチン接種歴あり)ありました。
- 13 水痘(入院例に限る):10 歳未満の臨床診断例の報告が 1 件(ワクチン接種歴不明)ありました。
- 14 梅毒:13 件の報告(無症状病原体保有者 4 件、早期顕症梅毒 I 期 5 件、早期顕症梅毒 II 期 4 件)がありました。感染地域は国内 12 件、不明 1 件で、感染経路は性的接触が 12 件(異性間 10 件、異性間および同性間 1 件、詳細不明 2 件)でした。性別は男性 9 件、女性 4 件でした。直近 6 か月以内の性風俗産業の従事歴または利用歴がある報告は 11 件でした。
- 15 百日咳:10 歳未満が 8 件(ワクチン接種歴あり 6 件、なし 2 件)、10 歳代が 2 件(ワクチン接種歴あり 1 件、不明 1 件)、20 歳代が 3 件(いずれもワクチン接種歴不明)、40 歳代が 5 件(ワクチン接種歴なし 1 件、不明 4 件)、50 歳代が 2 件(いずれもワクチン接種歴不明)、60 歳代が 3 件(いずれもワクチン接種歴不明)、70 歳代が 1 件(ワクチン接種歴不明)の報告がありました。
- 16 風しん:検査診断例 16 件、臨床診断例 1 件が報告されています。10 歳未満 1 件(ワクチン接種歴あり)、20

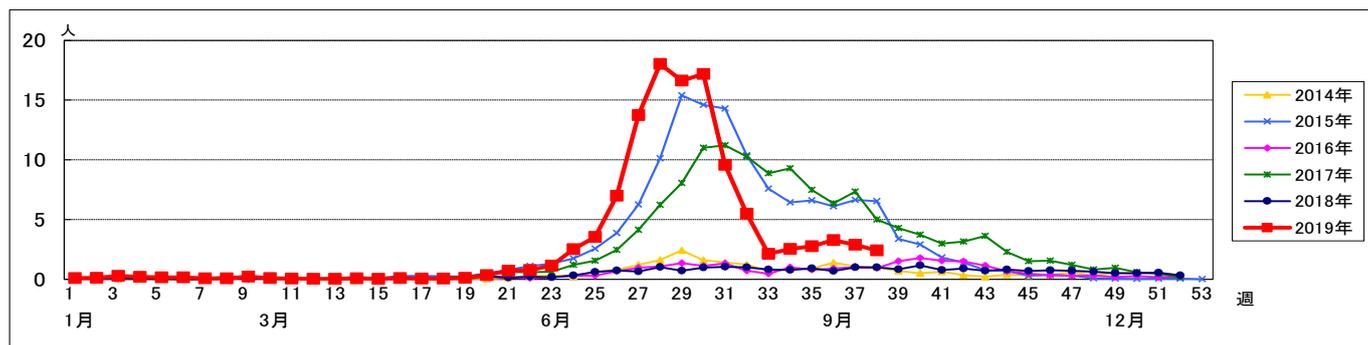
歳代 4 件(ワクチン接種歴あり 1 件、不明 3 件)、30 歳代 4 件(ワクチン接種歴あり 1 件、なし 2 件、不明 1 件)、40 歳代 6 件(ワクチン接種歴なし 3 件、不明 3 件)、50 歳代 2 件(いずれもワクチン接種歴不明)でした。男性 14 件、女性 3 件でした。

17 麻疹:検査診断例 2 件が報告されています。いずれも 40 歳代男性で、ワクチン接種歴不明でした。

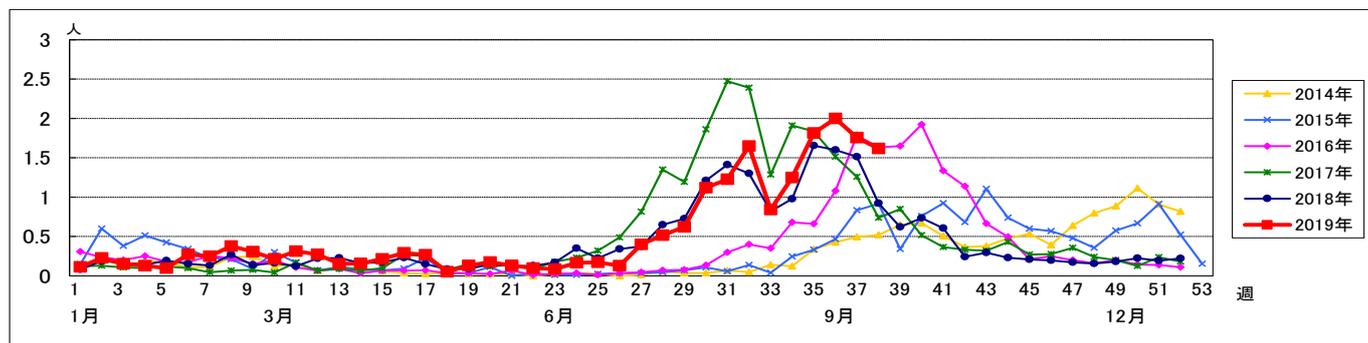
定点把握の対象

令和元年 週一月日対照表	
第 35 週	8 月 26 日 ~ 9 月 1 日
第 36 週	9 月 2 日 ~ 8 日
第 37 週	9 日 ~ 15 日
第 38 週	16 日 ~ 22 日

1 手足口病:2019 年は 0.05 から 0.10 で推移していましたが、第 20 週にて定点あたり 0.35 と増加を開始し、第 26 週にて 6.98 で流行警報発令基準値(5.00)を上回り、第 28 週で 18.01 にて最大値となり、第 38 週は 2.42 となっています。今年は過去に流行した 2017 年、2015 年の同時期を大きく上回って推移しています。報告は少なくなっていますが、依然として流行警報は続いています(警報解除基準:2.00)。



2 RSウイルス感染症:第 27 週にて定点あたり 0.40 と増加し、第 35 週で 1.81 にて最大値となり、第 38 週は 1.62 となっています。



3 性感染症:8 月

性器クラミジア感染症	男性:21 件	女性:26 件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性: 5 件	女性:11 件
尖圭コンジローマ	男性: 5 件	女性: 3 件	淋菌感染症	男性:10 件	女性: 2 件

4 基幹定点週報:

	第 35 週	第 36 週	第 37 週	第 38 週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	1.25	0.33	0.33	0.33
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.33	0.00

5 基幹定点月報:8 月

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	11 件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2 件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0 件		

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。
 横浜市衛生研究所ホームページ URL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/eiken/>